

第2回 横浜市港南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年4月4日（金）午前9時00分から12時00分まで
開 催 場 所	港南区役所6階603会議室
出 席 者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 横倉 聰（東洋英和女学院大学 名誉教授） 委員 石川 正二（港南区保健活動推進員会 会長） 　　伊藤 亜矢子（港南区障害者団体連絡会 会計） 　　鈴木 智香子（認定NPO法人市民セクターよこはま 理事長） 　　高木 明日香（中小企業診断士） 　　古屋 文雄（港南区連合町内会長連絡協議会 会長） 　　三浦 友美子（港南区子育て連絡会 会長） 　　若林 諭（港南区地区社会福祉協議会分科会 会長）</p> <p>【事務局】</p> <p>港南区福祉保健課長 中野 浩一郎 港南区福祉保健課事業企画担当係長 及川 由香里 港南区福祉保健課事業企画担当 浦田 賢、鈴木 梨紗 港南区高齢・障害支援課長 松月 美雄</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（応募団体の面接審査、指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者（以下「次点候補者」という。）の選定に関する審議について非公開。なお応募団体の面接及び質疑応答は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開）（傍聴者0人）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 公募の経過 2 審査にかかる確認 <ol style="list-style-type: none"> (1) 応募条件、財務状況評価等について (2) 面接審査の進め方について 3 応募団体の面接審査 4 指定候補者の選定、講評
決 定 事 項	<p>指定候補者及び次点候補者として、次のとおり、横浜市港南区長に報告することとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市港南台地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 <p>指定候補者：社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 次点候補者：なし</p>

	<p>2 横浜市東永谷地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 次点候補者：なし</p> <p>3 横浜市下永谷地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人同塵会 次点候補者：なし</p>
議 事	<p><u>1 公募の経過</u> 事務局から、公募の結果、各施設に対し1団体から応募書類の提出があった旨を報告。</p> <p><u>2 審査にかかる確認</u></p> <p>(1) 応募条件、財務状況評価等について</p> <p>○応募団体の資格要件等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 ・事務局より欠格事由に該当しないことを報告。 <p>○本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書について説明。 ・高木委員より財務分析結果報告書について説明。 <p>(2) 面接審査の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。

3 応募団体の面接審査

(1) 面接審査

ア 横浜市港南台地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 「とまとこども広場」は具体的にどういった取組なのか。

(団体) 子どもたちが、地域とのつながりを深める場として始めた活動。

子どもたちの居場所となるよう、ゲーム等をしながら交流を深めている。

地域ケアプラザを知ってもらうきっかけとなるよう取り組んでいる。

(委員) 担当地域の特色について伺いたい。

(団体) 歴史が長い地区だと感じている。

長く住んでいる人が多い印象だが、これから若い世代を取り込もうと、積極的に取り組んでいる。

周辺に多くの福祉施設があるので、様々な関係機関と連携し、まちづくりの発展に寄与していきたい。

(委員) 港南台ひの特別支援学校との交流について伺いたい。

(団体) 港南台ひの特別支援学校にて、「ふれあいデー」を開催し、ボッチャ大会等を行った。

また、障害者の社会参加の促進を目的とした、「青年学級ないとくるーず」という事業を、毎月第3金曜日に開催している。

(委員) 財務状況について伺いたい。

また、業務継続計画について、どういった状況か伺いたい。

(団体) 指定管理料のほか、デイサービス等の収入をもとに運営している。

第5期指定期間より、デイサービスが廃止となるため、デイサービス分の収入をカバーしなければならないと認識している。

また、主任ケアマネジャーが欠員しており、他職員で業務をカバーしている。人材確保について力を入れて取り組むべきと強く感じており、今後の対応策について検討している。

業務継続計画については、地域ケアプラザが福祉避難所であるという点を踏まえ、整理を進めている。

(委員) 個人情報の取り扱いについて、どのような研修を行っているか。

また、連合町内会との今後の関わりについて伺いたい。

(団体) 年に1度、職員向けに個人情報研修を行っている。

個人情報を扱う業務を担うため、丁寧に研修をしている。

連合町内会とは地域のお祭り等を通して、若い世代を地域活動に誘致できるような取り組みをしていきたいと思っている。

イ 横浜市東永谷地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 相談件数が増えている中、職員数は変わらないかと思うが、どのように対応しているか。

(団体) 相談件数が増え、大変ではあるが、相談からみえてくる課題と向き合うことが重要だと感じている。一人ひとりの相談に、丁寧に取り組んでいきたい。

(委員) 担い手不足があらゆる場で課題となっているが、人材確保について、今後どういった取組をしていくか。

(団体) 法人全体の取組として、人材確保のため、福祉業界の魅力発信を行っている。フォーラムを開催したり、学生へ周知をしたり、福祉のことを知ってもらい、関わる人を増やそうと取り組んでいる。就職相談会だけでなく、地域ケアプラザの職場体験も行っている。

(委員) 見守り協力事業所を訪問した際、感じたことを伺いたい。

(団体) 見守り登録事業所は、地域の見守りに対して前向きに取り組んでいただいている。

高齢者だけでなく、障害者等幅広く見守ってもらい、心配な人がいたら声かけてほしいといったことを、訪問の際にお伝えしている。

(委員) 1.6歳児講座とはどういったものか。

(団体) 1歳半の子をもつ親を対象とした講座。地域の中で知り合いを増やしてほしいという思いで、取り組んでいる。

(委員) 防災に関する取組について、具体的な取組を伺いたい。

(団体) 福祉避難所の開設マニュアルの読み合わせや、事業継続計画を含めたマニュアル整理をしている。

(委員) 個人情報の取り扱いについて、どのような研修を行っているか。

また、連合町内会との今後の関わりについて伺いたい。

(団体) 年に1度、法人全体の研修及び職場ごとに研修を行っている。

連合町内会含め、地域の方々と一緒に課題解決に向けて取り組んでいきたい。

ウ 横浜市下永谷地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 障害のある子の親について、共働きの方も多いと思うが、「ママサロン」は土日に実施しているのか。

(団体) 平日に実施している。子どもと一緒にではなく、親のみ参加いただいている。今後は一緒に来所していただき、子どもは別の部屋で過ごすこともできるというような体制にしたいと思っている。

(委員) 施設の稼働率について目標を定めているが、具体的な取組を伺いたい。

(団体) 地域ケアプラザの立地上、来所するのが大変という声が地域の方から寄せられる。

また、上永谷駅前地域ケアプラザの開所により、稼働率が下がっている。

地域ケアプラザだけでなく、町内会館等、他の場所でも事業を行い、気軽に誰でも参加できるような工夫をしている。

地域ケアプラザの存在を周知し、地道に稼働率を上げていきたい。

(委員) 移動販売が終了した理由は何か。また、再開の予定はあるか。

(団体) 事業者側の事情で終了した。売り上げが多いわけではなく、継続していくのが難しかったのではないか。

他の事業者に打診したが、断られてしまった。

今後について、地域の方と検討していきたい。

(委員) 不登校児の居場所があまりない。不登校の子を持つ親にとって、「ママサロン」はとてもよい場になると思う。「ママサロン」の周知について伺いたい。

(団体) これからチラシを配布し、周知していく。

様々な方に情報が行き届くよう、周知に力を入れて取り組みたいと思う。

(委員) 個人情報の取り扱いについて、どのような研修を行っているか。

また、連合町内会との今後の関わりについて伺いたい。

(団体) 4月に全職員対象に個人情報の取り扱いについて研修を行っている。

ヒヤリハットについても報告書を作成し、職員間で共有している。

四半期ごとに、市内地域ケアプラザ事故報告案件の確認も行っている。

連合町内会との関わりについては、密に連携をとれるよう、各種会議に積極的に参加する等、関係づくりを大切にしている。

(委員) 職員確保の工夫について伺いたい。また、地域の特色は何か。

(団体) 離職率が低いのが、法人の強みとしてある。欠員が生じている施設についても、法人全体でカバーしている。ケアマネジャーの人材不足が特に深刻である。

どこの地域でも課題となっているが、高齢化が進んでいる地域だと感じている。

4 指定候補者及び次点候補者の選定、講評

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(1) 横浜市港南台地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 恩賜財団済生会 支部神奈川県済生会	1,301／1,920 点	1,272／1,044 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

- ・(委員) 財務状況の健全化に向けて努めてもらいたい。
- ・(委員) 地域課題に応じた事業を様々実施しており、その解決に寄与している。
- ・(委員) 地域ケア会議を丁寧に行う等、地域との良好な関係を築いている点が、評価できる。

(2) 横浜市東永谷地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	1,307／2,010 点	1,246／1,098 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

- ・(委員) 地域の特色に応じて、先駆的な取組の実施を期待する。
- ・(委員) 財務状況の健全化に向けて努めてもらいたい。
- ・(委員) 相談件数の把握や課題の見える化をさらに進め、課題に対して丁寧に取り組んでほしい。

(3) 横浜市下永谷地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 同塵会	1,316／1,950 点	1,251／1,062 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

- ・(委員) 地域ケアプラザだけでなく、様々な場で事業を行い、より多くの人に参加してもらうための工夫がされている。
- ・(委員) 近隣に地域ケアプラザがあるという立地を生かして、さらなる施設間の連携を期待する。
- ・(委員) ママサロンの取組は、障害のある子の親にとって非常によい取組だと思う。障害のある子の親を含め、幅広い人に情報が行き届くよう周知に力を入れていただきたい。

各応募団体の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会他を指定候補者として選定することを決定する。

1 資料

- (1) 応募団体一覧
- (2) 評価基準加点項目に係る申出書
- (3) 前期の指定管理業務の実績報告書
- (4) 指定管理者の選定における市税納付状況確認の照会結果
- (5) 指定管理者の選定における神奈川県警への照会結果
- (6) 財務状況評価報告資料
- (7) 面接審査の進め方について

2 特記事項

特になし

資 料
特 記 事 項